

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(市町総括表)  
【**単独**・連携事業】

市町名	野木町
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	親水公園を核にした、老若男女が触れ合いながら楽しめる緑地公園づくり	総事業費	900,000	1,500,043	1,100,000	500,000	500,000	4,500,043
		うち市町支出額	900,000	1,500,000	1,100,000			3,500,000
		うち県交付金	450,000	750,000	550,000			1,750,000
2	空家活用プロジェクト ぶらっとほろむCADO	総事業費	410,000	232,011	273,000	200,000	200,000	1,315,011
		うち市町支出額	380,000	220,000	240,000			840,000
		うち県交付金	190,000	110,000	120,000			420,000
3	アートでつながる街中活性化事業	総事業費		483,936	500,000	500,000	480,000	1,963,936
		うち市町支出額		480,000	500,000	500,000		1,480,000
		うち県交付金		240,000	250,000	250,000		740,000
4	野木町文化祭	総事業費		1,196,044	1,325,000	1,325,000	1,325,000	5,171,044
		うち市町支出額		1,196,044	1,325,000	1,325,000		3,846,044
		うち県交付金		598,022	662,500	662,500		1,923,022
5	野木町郷土館を地域における文化的センターとするための活性化プロジェクト	総事業費			300,000	200,000	200,000	700,000
		うち市町支出額			300,000	200,000	200,000	700,000
		うち県交付金			150,000	100,000	100,000	350,000
6	商工会きらりフェスタ	総事業費			1,875,000	1,875,000	1,875,000	5,625,000
		うち市町支出額			1,500,000	1,500,000	1,500,000	4,500,000
		うち県交付金			750,000	750,000	750,000	2,250,000
7	ICT普及促進事業 (～R3事業名:ICT地域活性促進事業)	総事業費	175,433	350,000	350,000	350,000		1,225,433
		うち市町支出額	155,433					155,433
		うち県交付金	77,715					77,715
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	1,485,433	3,762,034	5,723,000	4,950,000	4,580,000	20,500,467
		うち市町支出額	1,435,433	3,396,044	4,965,000	3,525,000	1,700,000	15,021,477
		うち県交付金	717,715	1,698,022	2,482,500	1,762,500	850,000	7,510,737

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	野木町
事業名	親水公園を核にした、老若男女が触れ合いながら楽しめる緑地公園づくり
事業主体の名称	のぎ水辺の楽校応援倶楽部
代表者の名称	松平親夫
事業主体の所在	〒329-0114 栃木県下都賀郡野木町野木2019-3
事業主体の概要	団体の目的 のぎ水辺の楽校周辺の自然保護と周辺環境整備を進める。 設立年月日 平成24年4月14日 構成員等 地域住民 町民 のぎ学区分館役員 退職教員 地元選出議員 元地主 他
当該事業に係る地域の現状と課題	野木町水辺の楽校は国有地であり渡良瀬遊水地に隣接している。湿地植物の豊かな生態系が守られており、希少生物も多く残されている。国土交通省の「水辺の楽校プロジェクト」の対象になっている。豊かな湧水を利用しほたる祭りなども実施されている。周辺は長年放置されてきた民有地で、所有者もわからない土地が多く周辺整備の進捗状況も思わしくない。活動の拠点としている場所とその周辺は地主の善意で無償で借用している状況である。また、当水辺の楽校へのアクセスが分かれにくく、入口の道路も狭いため来校者にとって障害となっている。飲料水やトイレの施設もないため来校者から設置要望も多く聞かれる。 のぎ水辺の楽校は、ゲンジホタルが棲息でき、希少植物や野生動物も数多く見られるとても貴重な場所である。この資源を活用し、今後様々なイベントやレクリエーションを行うことを通じて、地域住民の憩いの場所となるようにしていく必要がある。
事業目的	平成21年度から国土交通省の手によりすすめられた「のぎ水辺の楽校」が、事業仕分けの影響を受け散策路だけの完成で打ち切られた。この地はかつて豊かな湧水があったことを知っていた住民の手により、湧水を利用して水路や池が作られた。ゲンジホタルの幼虫とカワナを放流したところ、ホタルが棲息できるが確認できた。また、希少植物や野生動物も数多くみられるこの地の自然を守りながら、ほたる祭りや自然体験、キャンプ・バーベキューなどの屋外レクリエーションを楽しめる親水総合自然公園として住民が集い、健全に余暇を楽しめる場となるように整備する。
事業概要	令和5年度 ①近隣の小・中学校と連携し、児童・生徒の自然観察や総合的な学習活動のサポートを実施する。 ②水路周辺を整備し、子供たちが安全に水生動植物に触れることができるように水路散策路を整備する。 ③ホタルの採卵、幼虫飼育・放虫を行う。 ④ほたる祭りとふれあいコンサートの実施。 ⑤ふれあい広場の整備。 ⑧自生している湿地植物を守るためにヨシ焼きを行う。 令和6年度以降 ①近隣の児童・生徒を対象とした学習活動に対して学校と連携したサポートを実施する。 ②ほたる祭り、ふれあいコンサートの実施。 ③ホタルの採卵、幼虫飼育・放虫の実施。 ④池や水路周辺の安全対策。 ⑤湿地植物の保護とヨシ焼きの実施。 ⑥散策路の草刈り。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標2】 人呼び込み、新しいひとの流れをつくる 【数値目標】 流入(移住・交流)人口 現状値:204,736人(令和元年度)→目標値232,000人(令和7年度) 野木町を暮らしやすいと感じている町民の割合 現状値76,4%(令和元年調査)→目標値80,0%以上(令和6年調査) 【KPI】 観光入込客数 現状値202,736人(令和元年度)→目標値231,000人(令和7年度) 野木町の魅力の町外へのPR活動数 現状値11件(令和元年度)→目標値20件(令和7年度)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	①自然観察場の整備 ②水源(井戸)の増設とホタルの幼虫飼育放虫 ③案内板・花壇の設置 ④ふれあい広場の整備 ⑤ふれあいコンサート ⑥ヨシ焼き ⑦生態系の保護と移植 ⑧パンフレットの改正	①水路周辺の整備 ②ホタルの採卵、幼虫飼育と放虫 ③ホタル祭り・ふれあいコンサートの実施 ④ふれあい広場整備 ⑤竹林の伐採 ⑥ヨシ焼き ⑦水路散策路の整備 ⑧清水谷と福荷谷に花壇増設	①自然観察会の実施 ②ホタルの幼虫放虫 ③ホタル祭り・ふれあいコンサートの実施 ④池や水路周辺の安全対策 ⑤ヨシ焼き		①水路の整備 ②ホタルの採卵、放虫 ③ホタル祭り・ふれあいコンサートの実施 ④ヨシ焼き ⑤竹林の伐採 ⑥散策路の整備
事業費	900,000	1,500,043	1,100,000	3,500,043	500,000
市町支出金(ソフト事業分)	900,000	1,500,000	1,100,000	3,500,000	
うち県交付金	450,000	750,000	550,000	1,750,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	35	43	0	43	500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生活環境課 人権・協働推進係
担当者名	水井
電話	0280-57-4132
FAX	
E-mail	seikatukankyou@town.noshi.lg.jp

## 栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	野木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	親水公園を核にして老若男女が触れ合いながら楽しめる緑地公園づくり	
対象年度	令和5	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
野木町補助金	1,100,000	
計	1,100,000	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
・報償費	45,000	45,000	22,500	0	イベント2回の演奏謝礼6組
・消耗品費	503,000	503,000	251,500	0	ホタル成虫、カワニナ、ホタル育成具、刈払機部品、インク他
・燃料費	55,000	55,000	27,500	0	刈払機用ガソリン、合成オイル、オイル他
・印刷製本費	25,000	25,000	12,500	0	イベント2回のポスター、チラシ
・通信運搬費	12,000	12,000	6,000	0	ホタル、カワニナ、刈払機部品等の送料
・手数料	3,000	3,000	1,500	0	振込み手数料
・保険料	13,300	13,300	6,650	0	令和5年度ボランティア活動保険38名
・賃借料	220,000	220,000	110,000	0	イベント2回の音響・照明設備、ホタル祭り仮設トイレ2基
・委託料	2,000	2,000	1,000		ホタル祭り仮設トイレ汲み取り
・光熱水費	1,000	1,000	500	0	ホタル祭り電気料
・原材料費	115,700	115,700	57,850	0	水路通路盛土材、さなぎ用土他
・備品購入費	105,000	105,000	52,500	0	エンジン刈払機3台
計	1,100,000	1,100,000	550,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	野木町
事業名	空家活用プロジェクト ふらっとほうむCADO
事業主体の名称	煉瓦窯deマルシェ実行委員会
代表者の名称	松目 優香
事業主体の所在	栃木県下都賀郡野木町丸林396-8
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的：野木町の賑わいづくりを目的とする</li> <li>・設立年月日：令和2年10月</li> <li>・構成員等：町内在住者13名</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	高齢化が著しい野木町において空家の増加も目立ち始めている。いかに空家を活用していくかというのは社会問題の一つである。また、町内に移住してきた人などが地域住民との関わりを持てるような交流の場としての拠点が必要である。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもから高齢者までの幅広い人たちが気軽に立ち寄れる居場所づくり</li> <li>・居場所づくりによって人と人の繋がり、支えあう関係や多世代間交流を生み出すこと</li> <li>・住居のスキル(資格、特技)を発揮できる場所の提供(講習会、ワークショップなど)</li> </ul>
事業概要	<p>【令和5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空家活用に必要な物の整備・修繕、花壇の整備</li> <li>・イベント実施 毎週1回 CADOの日(コミュニティカフェ)開催 奇数月 CADOの縁側(ワークショップを中心に駄菓子の販売等を行う)開催 偶数月 CADO de プチマルシェ(物販を中心)開催 年数回 講師を招いてワークショップを開催 子どもの居場所「駄菓子屋CADO」の運営 地域食堂の開催</li> <li>・SNS(LINE公式アカウント、FACEBOOK)を活用した情報発信</li> </ul>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標4】 ひとが集い、安心して暮らすことができる地域をつくる</p> <p>【数値目標】 野木町に住み続けたい、住み続けると思う人の割合 現状値74.6%(R元年調査)→目標値90.0%(R6年調査)</p> <p>【KPI】 まちづくり(ふれあいの町)の満足度 現状値24.8%(令和元年調査)→目標値30.0%以上(R6年調査)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	空家活用事業	空家活用事業	①空家活用に必要な物の整備、修繕、花壇の整備 ②イベント実施 マルシェ、地域食堂等 ③ワークショップの開催 ④SNSを活用した情報発信		①空家活用に必要な物の整備、修繕、花壇の整備 ②イベント実施 マルシェ、地域食堂等 ③ワークショップの開催 ④SNSを活用した情報発信
事業費	402,976	232,359	273,000	908,335	200,000
市町支出金(ソフト事業分)	380,000	220,000	240,000	840,000	
うち県交付金	190,000	110,000	120,000	420,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	22,976	12,359	33,000	68,335	200,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生活環境課 人権・協働推進係
担当者名	水井
電話	0280-57-4132
FAX	
E-mail	seikatukankyou@town.nogi.lg.jp

## 栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	野木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	空家活用プロジェクト ふらっとほうむCADO	
対象年度	令和5	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	240,000	
自主財源	33,000	イベントによる収益及び維持管理協力費
計	273,000	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
修繕費	10,000	10,000	5,000	0	網戸張替え 他
光熱水費	60,000	40,000	20,000	20,000	月5,000円×12か月(電気・上下水道代) ※空家活用プロジェクトに係る費用
燃料費	4,000	4,000	2,000	0	灯油代 ※空家活用プロジェクトに係る費用
保険料	12,000	12,000	6,000	0	東京海上火災保険
消耗品費	20,000	20,000	10,000	0	庭整備(腐葉土、植物等) 事務用品(コピー用紙、画用紙、筆記具、その他) 日用品(トイレトーパー、洗剤、消毒液等)
通信費	47,000	34,000	17,000	13,000	インターネット回線費 ホームルーター利用料
備品購入費	30,000	30,000	15,000	0	オープンレンジ
印刷製本費	10,000	10,000	5,000	0	掲示物印刷費 コピー代
報償費	20,000	20,000	10,000	0	講師料 5,000円×4回
賃借料	60,000	60,000	30,000	0	月5,000×12ヶ月(家賃)
計	273,000	240,000	120,000	33,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	野木町
事業名	アートでつながる街中活性化事業
事業主体の名称	のぎまちづくりネットワーク
代表者の名称	浜田敏路
事業主体の所在	〒329-0101 栃木県下都賀郡野木町友沼4640-39
事業主体の概要	<p>・団体の目的：私達の住む野木町を少しでも良くするため、町民の皆様と一緒に活動する。 特にシニア世代の力を活かしまちづくりを協働で進め、プラットホーム事業で町が元気になるよう努めています。</p> <p>・設立年月日：平成21年4月28日</p> <p>・構成員 等：野木町在住 趣旨に賛同した方13名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	野木町も少子高齢化が進み地域のつながりも無くなりつつあり、又、コロナ禍の影響で暗い気持ちが覆っている。コミュニケーションも不足になり、つながりも希薄、この様な中で「アート」でつながることは心を明るくし地域の活性化になると考えます。
事業目的	<p>子供と大人が「アートでつながる」をテーマにワークショップを通じて繋がり街中に活気を取り戻す。又、ボランティア団体・NPO・きらり館とも連携しプラットホーム事業として企画・運営、町内外より集客を図り町の活性化につなげます。</p> <p>「まちおこし、人おこし、ふるさとおこし」がコンセプトであります。</p>
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. きらり館広場で子供と大人のイルミネーション イルミの図案募集、制作のためのワークショップ(子供と大人の共同作業)をお絵描き、イルミ飾付の2回開催</li> <li>2. 顔出しパネル+昔のカカンコンテストとアートマルシェ 顔出しパネルの図案募集、制作ワークショップや作品募集、作品はダンボール製、布製 ボランティア団体・個人と連携しマルシェ開催</li> <li>3. 小さな美術館の開館・運営 きらり館「きらり展示館」を活用し企画展、ボランティア団体・個人の作品を展示、きらり館と連携し運営する</li> <li>4. 町巡りかるた制作と活用 名所旧跡、文化、イベントをかるたで紹介、活用する</li> </ol>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標2】 イベント等を開催することにより、町の魅力を広く発信する。</p> <p>【数値目標】 野木町を暮らしやすいと感じている町民の割合 現状値76.4%(令和元年度調査)→目標値80.0%以上(令和7年度)</p> <p>【KPI】 観光入込客数 現状値202,736人(令和元年度)→目標値231,000人(令和7年度) 野木町の魅力の町外へのPR活動数 現状値11件(令和元年度)→目標値20件(令和7年度)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	1. 子供イルミネーション 開催(2回のワークショップ) 2. 顔出しパネルコンテストとアートマルシェ検討 3. 小さな美術館運営・開催(3回展示)	1. 子供イルミネーション 2. 顔出しパネルコンテストとアートマルシェ(試作品制作) 3. 小さな美術館運営・開催(4回)	1. 子供イルミネーション 2. 顔出しパネルコンテストとアートマルシェ 3. 小さな美術館運営 4. 町巡りかるた制作・活用		
事業費	483,936	500,000	500,000	1,483,936	480,000
市町支出金(ソフト事業分)	480,000	500,000	500,000	1,480,000	
うち県交付金	240,000	250,000	250,000	740,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	3,936	0	0	3,936	480,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生活環境課 人権・協働推進係
担当者名	水井
電話	0280-57-4132
連絡先 FAX	
E-mail	seikatukankyou@town.nogi.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	野木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	アートでつながる街中活性化事業	
対象年度	令和5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
野木町支出金	500000	
計	500,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	10,000	10,000	5,000	0	講師謝礼金
消耗品費	90,000	90,000	45,000	0	イルミ消耗品、ワーク ショップ消耗品
印刷製本費	10,000	10,000	5,000	0	チラシ
備品費	270,000	270,000	135,000	0	イルミ用の備品他
工事請負費	100,000	100,000	50,000	0	イルミ工事費
通信運搬費	10,000	10,000	5,000	0	切手
旅費	10,000	10,000	5,000	0	調査のため
計	500,000	500,000	250,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	野木町
事業名	野木町文化祭
事業主体の名称	野木町文化祭実行委員会
代表者の名称	実行委員長 真瀬 宏子
事業主体の所在	〒329-0195 栃木県下都賀郡野木町大字丸林571「野木町教育委員会事務局生涯学習課内」
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:野木町文化祭の開催事業の具体的な推進を図る。</li> <li>・設立年月日:</li> <li>・構成員等:野木町文化協会役員及び野木町教育委員等</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	野木町も少子高齢化が進み地域のつながりも無くなりつつあり、又、コロナ禍の影響で暗い気持ちが覆っている。コミュニケーションも不足になり、つながりも希薄、この様な中で「アート」でつながることは心を明るくし地域の活性化になると考えます。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化・芸術活動に参加する町民を増やし、町民の創作意欲の高揚を喚起する。</li> <li>・文化芸術の側面から町民の交流を図り、ふるさと意識の高揚と一体感の醸成を図る。</li> <li>・多様化する文化芸術団体の成果発表の受け皿となる。</li> <li>・町内に限らず、文化の振興に関心のある団体の情報発信・交流の場を設け、文化の相互発展に寄与する。</li> </ul>
事業概要	<p>【令和5年度】</p> <p>○野木町文化祭の開催(令和5年10月21日～11月3日)【参加・交流型】</p> <p>&lt;概要&gt;</p> <p>①ダンスパーティー ②音楽会 ③囲碁大会 ④将棋大会 ⑤展示発表会 ⑥茶会 ⑦映画会 ⑧芸能発表会 ⑨模擬店等 ⑩郷土館公開展示 ⑪交流フリマ</p> <p>○集客</p> <p>町広報誌や町HP・町SNSで情報発信するとともに、庁舎に懸垂幕を設置し周知する。 また、チラシ・ポスターを町内各所に設置する。 近隣市町の文化協会にも宣伝し、また町外者参加型の新しい企画をPRすることで、町外からの集客を増やす。</p> <p>○来場者アンケートの実施</p> <p>改善点、来場理由(〇〇を見て)等を記載してもらい、次年度以降の内容検討に使用する。 【次年度以降】</p> <p>アンケート結果から事業内容を見直し、より多くの方が参加したいと思える文化祭を実施する。 【関係人口】I-d</p> <p>・交流フリマなどを行うことにより、地域外からの出店を促し地域への継続的な関わりを構築する。 ・町外者参加型の企画をPRすることで、新たな人の流れを創出する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標2】人を呼び込むための魅力づくり</p> <p>【KPI】まちづくり(教育のまち)の満足度 現状値:0.29点(平成26年調査)→目標値:0.45点(令和元年調査)</p> <p>【基本目標4】時代にあった地域づくり</p> <p>【KPI】野木町に住み続けたい、住み続けると思う人の割合 現状値:80.7%(平成26年調査)→目標値:90.0%(令和元年調査)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	各種文化事業の実施 ①映画会 ②将棋大会 ③展示発表会 ④郷土館展示公開 ⑤茶会 ⑥模擬店等 ⑦音楽会 ⑧芸能発表会 ⑨交流フリマ	各種文化事業の実施 ①映画会 ②将棋大会 ③展示発表会 ④郷土館展示公開 ⑤茶会 ⑥模擬店等 ⑦音楽会 ⑧芸能発表会 ⑨交流フリマ	各種文化事業の実施 ①映画会 ②将棋大会 ③展示発表会 ④郷土館展示公開 ⑤茶会 ⑥模擬店等 ⑦音楽会 ⑧芸能発表会 ⑨交流フリマ		各種文化事業の実施 ①音楽会 ②将棋大会 ③展示発表会 ④郷土館公開展示 ⑤茶会 ⑥映画会 ⑦模擬店等 ⑧芸能発表会 ⑨交流フリマ
事業費	1,196,044	1,325,000	1,325,000	3,846,044	1,325,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,196,044	1,325,000	1,325,000	3,846,044	
うち県交付金	598,022	662,500	662,500	1,923,022	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	1,325,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生活環境課 人権・協働推進係
担当者名	水井
電話	0280-57-4132
FAX	
E-mail	seikatukankyou@town.nogi.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	野木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	野木町文化祭	
対象年度	令和5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
野木町支出金	1325000	
計	1,325,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	30,000	30,000	15,000	0	模造紙、色画用紙、ロール紙等
印刷製本費	122,300	122,300	61,150	0	文化祭プログラム・チラシ
保険料	23,600	23,600	11,800	0	会場設営保険料
手数料等	15,000	15,000	7,500	0	紅白幕クリーニング代
委託料	694,100	694,100	347,050	0	照明音響業務委託
使用料及び賃借料	440,000	440,000	220,000	0	映画会フィルム借り上げ
計	1,325,000	1,325,000	662,500	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	野木町
事業名	野木町郷土館を地域における文化的センターとするための活性化プロジェクト
事業主体の名称	野木歴史文化伝承会
代表者の名称	関根秋雄
事業主体の所在	野木町丸林571番地野木町役場内野木町郷土館
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的: 町民自らが主体的に郷土館再生のための整備と郷土館の文化的・歴史的価値を町内外に啓蒙することを目的に設立</li> <li>・設立年月日: 平成29年(2019)2月19日</li> <li>・構成員等: 会員数15名</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	野木町は、首都東京へもっとも近い利便性と、豊かな自然が同居する今後益々注目される町であるが、これまではその歴史文化的な発信が国史跡の野木町煉瓦窯においては行われてこなかった。野木町の多様な歴史文化を一堂に集めた野木町郷土館はその活用と積極的な発信によって野木町の価値をさらに引き上げる格好の施設である。が、しかし、これまではそのことが十分にこなされてこなかったのが現状である。今回のプロジェクトは、これらのことを踏まえた地域活性化の一つのチャレンジであると考え。
事業目的	野木町郷土館を地域活性化の中核的施設として、とくに歴史・文化的側面から、現在の建物を維持する中で様々な取組みを通じて町内外にその存在意義を知ってもらう取組みである。
事業概要	<p>【令和5年度】 野木町郷土館の認知度アップの取組みとして、町政60周年記念に合わせ、郷土館の壁面及び外囲を活用し郷土館をアピールする看板アート等を町内の若い力を借り実施し、合わせて館内の整備も実施する。</p> <p>【令和6年度】 2年度は、主として郷土館のエクステリア面の整備と充実をテーマに、これまで放置されてきた揚舟の再生により、郷土館の新たな目玉とする。また、郷土館前を「縄文ガーデン」として活かす取組みも、館内の整備と合わせ実施する。</p> <p>【令和7年度】 3年度は郷土館内部の整備に注力し、より見やすい展示のための工夫に取り組み、合わせて収蔵庫の整備もおこない3年間で行ってきた本事業の集大成とする。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標2】人を呼び込み、新しいひとの流れをつくる</p> <p>【数値目標】流入(移住・交流)人口 現状値: 204,736人(令和元年度)→目標値: 232,000人(令和7年度)</p> <p>【KPI】野木町の魅力の町外へのPR活動数 現状値: 11件(令和元年度)→目標値: 20件(令和7年度)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	①郷土館看板アート制作 ②郷土館ネームプレートの設置 ③郷土館前のガーデニング等の景観整備 ④郷土館展示室の整備 ⑤SNSを活用した情報発信方法の強化 ⑥講師を招いての講習会の開催	①郷土館看板アート制作 ②揚げ舟の再整備と活用 ③郷土館ネームプレートの設置 ④郷土館前のガーデニング等の景観整備 ⑤郷土館収蔵庫の整備 ⑥郷土館展示室の整備 ⑦SNSを活用した情報発信方法の強化	①揚げ舟の再整備と活用 ②郷土館ネームプレートの設置 ③郷土館前のガーデニング等の景観整備 ④郷土館収蔵庫の整備 ⑤郷土館展示室の整備 ⑥SNSを活用した情報発信方法の強化		
事業費	300,000	200,000	200,000	700,000	
市町支出金(ソフト事業分)	300,000	200,000	200,000	700,000	
うち県交付金	150,000	100,000	100,000	350,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生活環境課 人権・協働推進係
担当者名	水井
電話	0280-57-4132
FAX	
E-mail	seikatukankyou@town.nogi.lg.jp

## 栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

<b>市町名</b>	野木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
<b>単位事業名</b>	野木町郷土館を地域における文化的センターとするための活性化プロジェクト	
<b>対象年度</b>	令和5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
野木町支出金	300000	
計	300,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	10,000	10,000	5,000	0	講師謝金
旅費	10,000	10,000	5,000	0	調査に係わる交通費
消耗品費	50000	50000	25,000	0	木材、塗料、事務用品、 工具等
備品購入費	30,000	30,000	15,000	0	視聴覚機材、展示用資 材
印刷製本費	20,000	20,000	10,000	0	写真代、プリント代等
通信運搬費	10,000	10,000	5,000	0	葉書、切手代等
修繕料	20,000	20,000	10,000	0	揚げ舟用
委託料	150000	150000	75,000		看板アートの設置
計	300,000	300,000	150,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	野木町
事業名	商工会きらりフェスタ
事業主体の名称	野木町商工会
代表者の名称	小島 三利
事業主体の所在	野木町大字丸林384番地4
事業主体の概要	<p>団体の目的:野木駅周辺の活性化・地域経済の発展、魅力発信による移住定住の促進、触れ合いの場の提供による郷土愛の醸成</p> <p>・設立年月日:昭和39年7月21日</p> <p>・構成員等:380名(令和5年3月31日現在)</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>栃木県の最南端に位置し、茨城県と接している野木町は、JR宇都宮線や国道4号線により、首都東京へ約60km、宇都宮へ約40kmで結ばれた首都圏に位置します。地形は平坦で、気候は温暖、地味も肥沃と気候風土ともに恵まれています。このような条件の下、米・麦・果樹・施設園芸などの農業が盛んです。一方、JR宇都宮線や国道4号、新国道4号線などへのアクセスのしやすから、首都圏に通勤するためのベッドタウン的色彩に加え、町内には野木工業団地、野木東工業団地のほか、新たに野木第2工業団地も完成し、豊かな自然と産業の調和のとれた「小さくてもキラリと光るまち」です。喫緊の課題は、急速に高齢化が進み以前比べると活気が停滞し、さらにコロナの影響で外出の自粛、イベントの中止や延期などで活気が沸き上がらないのが課題です。</p>
事業目的	<p>新型コロナウイルスの影響により町民はもとより町内事業者も大きな打撃を受けている。町が町政施行60周年の節目を迎え、町内経済を牽引する事業者で組織する野木町商工会が主体となりイベントを開催することで、町のキャッチフレーズ「小さくてもキラリと光る町」とおり、多くの町民に「キラリ」と輝く笑顔を届け、町と野木駅周辺の活性化、地域経済の発展につなげる。また、イベントを通して野木町の魅力を全国に発信することで、交流人口や関係人口の増加、そして移住定住の促進を目指す。さらに、コロナの影響により希薄になった人との交流を復活することで住民同士の触れ合いの場を提供することで郷土愛の醸成につなげる。</p>
事業概要	<p>「商工会きらりフェスタ」【関係人口分類: I-d】</p> <p>開催日:令和5年11月25日</p> <p>会場:</p> <p>①イルミネーションの点灯 町観光協会で毎年野木駅東西のロータリーにイルミネーションを点灯させている。野木駅の利用者をはじめ多くの方に癒しを届けている。イベントの会場はロータリーからほど近く、子どもや高齢者などの地域住民の憩いの場である。公園内にもイルミネーションを点灯させ駅前ロータリーとコラボレーションすることで更なる駅周辺の活性化を図る。</p> <p>実施期間:令和5年11月25日～令和6年1月31日</p> <p>②町のブランドの日本酒等の試飲及びモニター調査 町産米「とちぎの星」を使用した日本酒「野木きらり」は、町のブランド品であり地元農業者等の支援や地域活性化につながっている。この日本酒の認知度の向上や販路拡大に向けて、多くの方に味わっていただき、その魅力をPRする。加えて、試飲者に対してモニター調査を行い、その結果を今後の商品開発や販路拡大等のマーケティングに活用することで美味しい日本酒が飲める町としての認知度向上につなげる。また、同じ新酒ワインのボジョレーヌーボーも解禁となることから日本酒との飲み比べ等によりイベントでの賑わい創出に向けた様々な仕掛けを地元事業者、地域団体、教育機関等の協力を得ながら行う。また、これ以外の町ブランド品のPRも行う。</p> <p>③花火の打ち上げ 野木町に老舗花火事業者があり「野木の花火」が町のブランドになっている。コロナの影響により各地の花火大会等が自粛、規模縮小など大きな打撃を受けている。花火は、多くの人に感動と笑顔を届けることができる。町政施行60周年に地元事業者の協力の下、イベントと併せて花火を打ち上げ、多くの方に感動と喜びを共有することで、郷土愛の醸成につなげ、さらには地域経済の活性化を図る。</p> <p>④関係人口の創出 チラシを作成し、HPや町広報紙により町外への周知を行う。これにより野木町の魅力を全国に発信し移住定住の促進に繋げる。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標2】人を呼び込み、新しいひとの流れをつくる 3野木町の魅力のブランド化 1野木ブランドの創出と育成 2郷土愛の醸成</p> <p>KPI 野木ブランド認定件数(累計)現状値:令和元年度17件→目標値:(令和3年度～令和7年度)20件</p> <p>KPI 10代～50代の住民で野木町に住み続けたい、住み続けると思う人の割合 令和元年度69.91%～令和6年度80.0%</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①イルミネーションの点灯 ②町のブランドの日本酒等の試飲及びモニター調査 ③花火の打ち上げ	①イルミネーションの点灯 ②町のブランドの日本酒等の試飲及びモニター調査 ③花火の打ち上げ	①イルミネーションの点灯 ②町のブランドの日本酒等の試飲及びモニター調査 ③花火の打ち上げ		①イルミネーションの点灯 ②町のブランドの日本酒等の試飲及びモニター調査 ③花火の打ち上げ
事業費	1,875,000	1,875,000	1,875,000	5,625,000	1875000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,500,000	1,500,000	1,500,000	4,500,000	
うち県交付金	750,000	750,000	750,000	2,250,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	375,000	375,000	375,000	1,125,000	1,875,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生活環境課 人権・協働推進係
担当者名	水井
電話	0280-57-4132
連絡先 FAX	
E-mail	seikatukankyou@town.nogi.lg.jp

## 栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	野木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	商工会きらりフェスタ	
対象年度	令和5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
野木町支出金	1500000	野木町わがまちつながり構築事業交付金
寄付金	375000	会員375名×5,000円×1/5
計	1,875,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	100,000	100,000	50,000	0	イラスト原稿料等(チラシ、ポスターの原稿)
消耗品費	425,000	425,000	212,500	0	消耗品費 スタッフ防寒着、試飲用酒、コップ等
通信運搬費	150,000	150,000	75,000	0	通信運搬費 チラシの新聞折り込み、会員への案内通知
委託料	500,000	125,000	62,500	375,000	花火打ち上げ委託
工事請負費	300,000	300,000	150,000	0	仮設電源設置
備品購入費	400,000	400,000	200,000	0	イルミネーション購入
計	1,875,000	1,500,000	750,000	375,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合